

JIS

ポルトランドセメント

JIS R 5210 : 2026

(JCA)

令和 8 年 3 月 23 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|--------|------------------------------------|
| (委員長) | 鎌田 敏郎 | 公益社団法人土木学会 (大阪大学) |
| (委員) | 岩波 光保 | 公益社団法人土木学会 (東京科学大学) |
| | 鹿毛 忠継 | 国立研究開発法人建築研究所 |
| | 加藤 佳孝 | 公益社団法人日本コンクリート工学会 (東京理科大学) |
| | 草野 昌夫 | 全国生コンクリート工業組合連合会 |
| | 古賀 裕久 | 国立研究開発法人土木研究所 |
| | 鈴木 澄江 | 工学院大学 |
| | 谷村 充 | 一般社団法人セメント協会 |
| | 野口 貴文 | 一般社団法人日本建築学会 (東京大学) |
| | 橋本 麻未 | 鹿島建設株式会社 |
| | 前田 敏也 | 一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社) |
| | 宮田 喜壽 | 防衛大学校 |
| | 丸山 慶一郎 | 一般財団法人建材試験センター |
| | 水田 真紀 | 国立研究開発法人理化学研究所 |
| | 柳田 直 | 特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (株式会社日東) |
| | 山中 信彦 | 公益社団法人地盤工学会 (基礎地盤コンサルタンツ株式会社) |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 25.7.17 改正：令和 8.3.23

官 報 掲 載 日：令和 8.3.23

原 案 作 成 者：一般社団法人セメント協会

(〒104-0041 東京都中央区新富 2-15-5 RBM 築地ビル TEL 03-5540-6171)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 田辺 新一)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 鎌田 敏郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|------------------------------|-----|
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 用語及び定義 | 1 |
| 4 種類及び構成 | 2 |
| 5 品質 | 3 |
| 5.1 一般事項 | 3 |
| 5.2 全アルカリの含有率の算出 | 3 |
| 5.3 鈰物量の算出 | 3 |
| 6 原材料 | 5 |
| 6.1 クリンカー | 5 |
| 6.2 せっこう | 5 |
| 6.3 少量混合成分 | 5 |
| 6.4 粉砕助剤 | 6 |
| 7 試験方法 | 6 |
| 7.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ | 6 |
| 7.2 化学成分 | 6 |
| 7.3 水和熱 | 6 |
| 8 検査 | 6 |
| 9 包装 | 6 |
| 10 表示 | 6 |
| 11 報告 | 7 |
| 附属書 A (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表 | 14 |
| 解 説 | 15 |

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人セメント協会（JCA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS R 5210:2019** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ポルトランドセメント

Portland cement

1 適用範囲

この規格は、ポルトランドセメントについて規定する。

なお、技術上重要な改正に関する旧規格との対照表を、**附属書 A** に示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS A 0203** コンクリート用語
- JIS A 6201** コンクリート用フライアッシュ
- JIS M 8850** 石灰石分析方法
- JIS R 5201** セメントの物理試験方法
- JIS R 5202** セメントの化学分析方法
- JIS R 5203** セメントの水和熱測定方法（溶解熱方法）
- JIS R 5204** セメントの蛍光 X 線分析方法
- JIS R 5211** 高炉セメント
- JIS R 5212** シリカセメント
- JIS R 9151** セメント用天然せつこう
- JIS Z 1505** クラフト紙袋—セメント用

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、**JIS A 0203** による。

3.1

ポルトランドセメント

クリンカー、適量のせつこうなどから製造されるセメント
(出典：JIS A 0203:2025 の 2110 を一部変更)

3.2

全アルカリ